

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38730
事業名	介護施設等ゾーニング環境等整備補助金					
評価担当課	所属名	保)高齢保健福 介護保険課				
	課長名	池田 清美	担当者名	櫻井 敦史	電話番号	011-211-2972
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	
事業の性質	<input type="radio"/> 経常経費	<input checked="" type="radio"/> 臨時的経費				
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理			
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input checked="" type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他
	目的	短期	新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、介護施設等の業務継続を支援するため。			
		長期	新型コロナウイルス終息の見通しが立たない中で、介護施設等に感染拡大防止策を講じつつの業務継続を求め、介護施設等を必要とする高齢者従事者の支援を継続し、必要な経費の補助を実施するため。			
	取組内容	①ユニット型施設の各ユニットへの玄関室設置によるゾーニング 各ユニットの入り口に玄関室を設置する等により、消毒や防護服の着脱等を行うためのスペースの設置等に対して支援を行う。 ②従来型個室・多床室のゾーニング 新型コロナウイルス感染症が発生した際、感染者と非感染者の動線を分離することを目的とした改修等に対して支援を行う。 ③2方向から出入りできる家族面会室の整備				
実施結果	①ユニット型施設の各ユニットへの玄関室設置によるゾーニング 34施設(120か所)の事業完了。 ②従来型個室・多床室のゾーニング 17施設(25か所)の事業完了。 ③2方向から出入りできる家族面会室の整備 44施設の事業完了。					
事業実施における工夫点	介護施設等に対して、補助事業の概要等を記した書類等を送付し、補助の希望調査を実施。					
対象者	介護施設等	開始	令和3年度	終了	令和3年度	
関連法令・条約・要綱等	介護サービス提供基盤等整備事業費交付金交付要綱 札幌市介護サービス提供基盤等整備事業補助金交付要綱					
他都市の状況	北海道が実施する事業であり、他政令市等において同種の事業を実施している。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	0	385,000	267,319	0	
うち特定財源	0	385,000	267,319	0	
人工	0.0	0.8	0.8	0.0	
人件費	0	5,760	5,760	0	
計(事業費+人件費)	0	390,760	273,079	0	
事業費の内訳	令和3年度決算	①+②+③=267,319千円 ①ユニット型施設の各ユニットへの玄関室設置によるゾーニング:85,567千円 ②従来型個室・多床室のゾーニング:78,402千円 ③2方向から出入りできる家族面会室の整備:103,350千円			
	令和4年度予算	令和4年度は介護サービス事業所等感染症対策費に含めて予算編成しているが、ゾーニング環境等整備に係る予算は307,500千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	整備施設数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	0	130	95	
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	意向調査を行い、各補助事業を希望した130施設のうち、95施設が補助事業を実施し、令和3年度内に完了した。1施設は工事着工等の遅れにより、令和4年度にて事業完了予定。意向調査にて希望したものの、補助事業を実施しなかった施設については、法人の都合により、行わなかったものである。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	意向調査にて把握した補助希望施設に補助事業実施の確認を行い、補助事業を実施している。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	補助金の交付は、現地検査及び書類審査を行い、事業が完了したことを確認した上で適切に実施している。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	整備や設備等の導入には多額の費用を要するが、補助金を利用することにより事業者の負担額が抑えられる。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	意向調査にて補助を希望した施設数と、実際に補助事業を実施した施設数との差が大きいため、意向調査の精度を上げられるよう努める。			
前回の評価	○ A ○ B ○ C ● 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	令和3年度からの事業のため、見直し内容なし。		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	各補助事業が必要な事業者に対し、要綱に基づいて補助金の支給ができたためである。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ○ 現状維持 ● 休止・廃止 令和4年度に意向調査をして、令和5年度中に補助希望している施設に補助を実施する。		
	予算	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ● その他 令和4年度以降は介護サービス事業所等感染症対策費に含めて予算編成しているが、ゾーニング環境等整備に係る予算は、69,500千円。		見直し効果額 0 千円